知事のカザフスタン共和国訪問について

１　要旨・目的

　　被爆・終戦８０年を迎え、核被害を受けた国や地域における被曝の実相への理解を深め、国際機関や各国政府等との連携を強化していくことを通じて、核兵器廃絶に向けた県及びへいわ創造機構ひろしま（ＨＯＰｅ）の取組を加速させる。

この一環で、知事が、カザフスタン共和国を訪問し、旧セミパラチンスク核実験場等を視察するとともに、同国政府との意見交換を行う。

２　現状・背景

県及びＨＯＰｅでは、核兵器のない平和な世界の実現に向けた取組を進めており、国際機関や各国政府関係者に対して働きかけを行っている。

カザフスタン共和国内の旧セミパラチンスク核実験場では、450回を越える核実験により、100万人以上が被曝したとされる。同国は、中央アジア非核兵器地帯条約締約国の一つであり、ＮＰＴ運用検討会議第２回準備委員会（2024年）や第３回核兵器禁止条約締約国会議（2025年）で議長国を務めるなど、独立以来、核兵器廃絶の取組を国際的に主導している。

３　概要

(1)　派遣者

知事、関係課職員

(2)　実施内容

○旧セミパラチンスク核実験場訪問

○セメイ医科大学訪問

○被曝者証言の聴講、資料館の視察

○カザフスタン共和国政府関係者との面談

○国際科学技術センター（ＩＳＴＣ）訪問　等

(3)　期間

　　　 令和７年７月14日（月）～20日（日）

(4)　予算（単県）

　　　 23,755千円